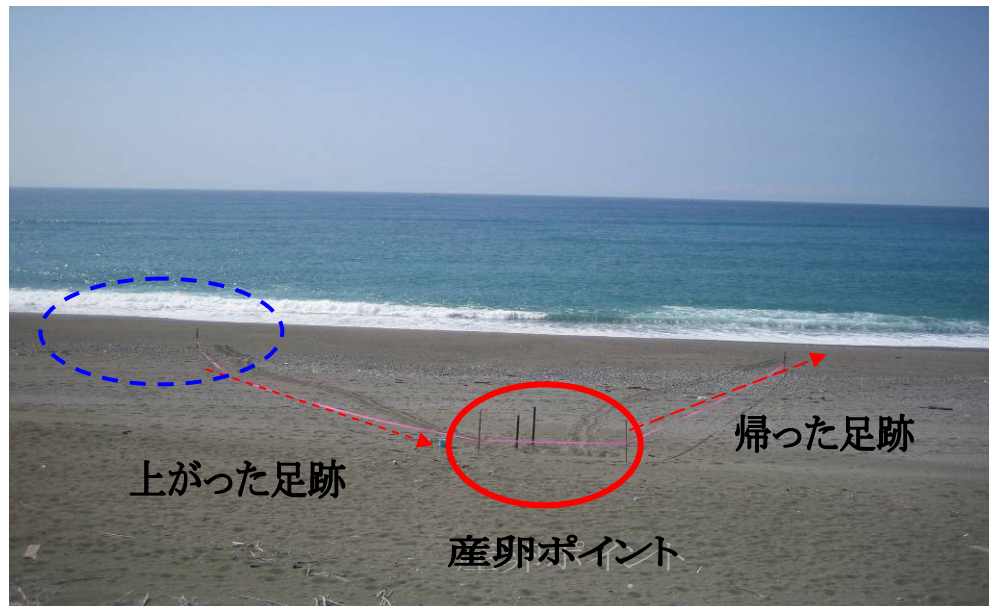


アカウミガメの産卵を発見しました！！

今年も高知海岸にアカウミガメが産卵に訪れています。

6月14日に、高知市立春野東小学校の4年生が戸原工区にアカウミガメの採卵見学の為にやってきました。

アカウミガメ産卵の後はこのような足跡が浜辺に残されています。



▼ 同じような足跡だけど、どうして左側から上がって右側に向かって帰って行ったのかというと左と右では左側の足跡の海に近い所が短くなっています。これはアカウミガメが上がって来て卵を産んでいる時に波によって消されていた証拠だからです。

▼ 採卵見学の前に4年生が先生達と一緒に海岸清掃してくれました。
海岸のゴミは産卵のさまたげになります。みんなの力できれいな海岸になりました。



▼ これから採卵の様子を見学します。
ウミガメ保護活動している熊沢佳範さんが産卵ポイントを掘って卵を探します。



▼ 実際に卵を触らせてもらい
1人1人感触を確かめよう。

卵初めて触った！！
柔らかくて
つぶれそう…



▼ 卵が乾かないように傘の下で卵を保護してます。

卵の重さの計測です。
1つ27グラムで少し小さい卵でした。
卵は全部で108個採卵しました。



次に巣穴の深さを測ってます。
ウミガメがどれだけ深い穴を掘っているか
実際に見てみて驚きました！！

72cmです！！



▼ 採卵した卵は学校のふ化場まで持ち帰り、ここで見た様な深い穴の中に戻します。
4年生達は熊沢さんの指導の元、砂が乾かないように水をあげたり砂の温度を測ったり毎日お世話します。卵は約2ヶ月でふ化します。

赤ちゃんカメが産まれたら今度は海に放流します。
それまでみんなで協力して頑張ってください。